

## 事業目標値達成状況進捗管理表

事業区分	指標	目標値	目標設定の考え方	参考値	前期				目標値達成見込み	要因・課題	
					H25	H26	H27	H28			H29(見込み)
通行空間	自転車ネットワーク路線の整備延長	14 km (平成29年度末時点)	自転車ネットワークの構築において選定した優先整備路線32.8kmのうち、平成29年度末までにその半分弱の整備を目指すこととし、目標値を設定します。	-	1.5km	累計 2.0 km	累計 3.4 km	累計 6.0 km	累計 8.5 km	×	【目標値未達成の要因】 整備にあたっては国の交付金が充分でなかったこと等により、当初の計画どおり進めることが出来なかったため、目標未達成の見込みとなった。 また、現行のガイドラインの整備手法では必要な幅員確保のための既設構造物改修に費用がかかったことも進捗の遅れにつながった。  【課題】 ・整備費用の確保 ・効率的な整備手法の検討  【対応策候補】 ・自転車ネットワーク路線の整備形態の見直し ⇒詳細は資料4
					(平成24年度末の実績値) 市:1.5km	市:0.5km 0.5km	市:1.4km 1.4 km	県:1.7km 市:0.9km 2.6 km	県:0.2km 市:2.3km 2.5 km		
駐輪	駐輪場台数	9,000 台 (平成29年度末時点)	通勤、通学における自転車利用者の利便性を高めるため、中心市街地や鉄道駅、停留場等の近くに、平成29年度末までに約300台の駐輪場整備を目指すこととし、目標値を設定します。 また、既存の駐輪場を使いやすくすることで利用促進も図っていきます。	8,670 台 (平成24年度末の実績値)	8,798 台	8,845 台	8,905 台	8,905 台	8,761 台	×	【目標値未達成の要因】 豊橋駅東口では狭間公園南駐輪場の閉鎖(150台減)を踏まえて約200台、豊橋駅東口以外では約250台の新規駐輪場整備を想定していた。 豊橋駅東口以外では高師駅での駐輪場増設(60台増)など予定以上に整備(約300台)を行うことが出来たが、豊橋駅東口では検討を行ったものの整備に至らず目標未達成の見込みとなった。  【課題】 ・整備候補地の確保 ・整備および管理運営手法の検討  【対応策候補】 ・民間の駐輪場整備への補助、支援 など
安全教育	交通安全教室等の受講人数	119,000 人 (平成26年度から平成29年度までの合計)	現在児童・生徒や高齢者などを対象に実施している交通安全教室等を、受講範囲の拡大や企業での自転車通勤促進の取組みと合わせた開催により、毎年約700人ずつ受講者を増加させることを目指し、目標値を設定します。 また、安全教育の効果をあげるため、新たな安全教育手法についても検討し、導入を進めていきます。	27,720 人 (平成24年度の実績値)	30,170 人	累計 31,303 人	累計 60,411 人	累計 91,248 人	累計 121,248 人	○	【目標値達成の要因】 小中学生の受講者数が大きく増加したことで目標値が達成できる見込みとなった。 特に小学生に対しては、これまで低学年を対象に実施していた交通安全教室をH25年度からは高学年にも拡大し、受講者数の増加につなげた。
						31,303 人	29,108 人	30,837 人	30,000 人		
意識啓発	自転車通勤促進の働きかけを行った企業数	75 社 (平成26年度から平成29年度までの合計)	「豊橋市の事業所(H19)」に掲載されている従業員数100人以上の事業所約150社のうち、平成29年度末までに約半数に対し自転車通勤を促進させるための働きかけや自転車利用のメリットの周知などを行うことを目指し、目標値を設定します。	-	8 社	累計 23 社	累計 23 社	累計 28 社	累計 38 社	×	【目標値未達成の要因】 H26年度には「自転車通勤促進セミナー」を開催したことで多くの企業への働きかけを行うことができたが、以降は個別に企業訪問を行うなど、興味を持っていただいた企業へのきめこまかい働きかけを行ってきたことから実績が伸びず、目標未達成の見込みとなった。 なお、重複となるため実績の数字には表れていないが、セミナー参加企業へのフォローアップや、エコ通勤の取組みを行っている県境周辺企業への継続的な働きかけは行っている。  【課題】 ・効率的、効果的な働きかけ方の検討  【対応策候補】 ・健康や交通安全など他の啓発機会との連携 など
						23 社	0 社	5 社	10 社		
支援・補助	自転車に関する補助・貸出しを受けた人数	3,600 人 (平成26年度から平成29年度までの合計)	電動アシスト自転車の購入費に対する補助を受けた人数、三人乗り自転車の貸出しを受けた人数について、現在減少傾向にある中、事業の周知などを行うことで、1年あたり現状の約900人を維持することを目指し、目標値を設定します。	897 人 (平成24年度の実績値)	826 人	累計 673 人	累計 1,394 人	累計 2,736 人	累計 3,676 人	○	【目標値達成の要因】 電動アシスト自転車購入補助と三人乗り自転車の貸出しを受けた人数は現状を維持することが出来なかったが、H28年度から新たにヘルメットの購入補助を開始したことで目標値が達成できる見込みとなった。  【課題】 ・老朽化した三人乗り自転車の更新 ・事業の更なる周知  【対応策候補】 ・電動アシスト自転車購入補助の高齢者への周知強化 など
						673 人	721 人	1,342 人 (内ヘルメット購入補助603人)	940 人 (内ヘルメット購入補助200人)		
レジャー	自転車関連イベントの開催回数	24 回 (平成26年度から平成29年度までの合計)	現在、年5回開催されている行政または公共的団体が関係する自転車関連イベントについて、年1回開催数を増加させることを目指し、目標値を設定します。 また、現在開催されているイベントについても、PRや内容の充実、拡大により参加者の増加を目指します。	5 回 (平成24年度の実績値)	6 回	累計 6 回	累計 13 回	累計 19 回	累計 25 回	○	【目標値達成の要因】 これまでのイベントを継続して開催するとともに、新たに「ええじゃないか豊橋サイクルフェスティバル」を継続開催することができたため、目標値が達成できる見込みとなった。
						6 回	7 回	6 回	6 回		